



特定非営利活動法人
日本医療マネジメント学会

2017年度 医療連携分科会 開催の御案内

テーマ：同時改定と地域連携

2018年は医療・介護の6年に1度の同時改定年です。同時改定は、医療と介護の連携のまたとない機会です。このため今回の改定にあたっては診療報酬を検討する中医協と、介護報酬を検討する介護給付費分科会の間でも、事前の意見交換が行われました。

今回は医療と介護の同時改定における課題と、地域における医療と介護連携の現状を振り返りながら、同時改定への理解を深めたいと思います。みなさんのご参集をお待ちしています。

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎 久義
地域医療委員会委員長 武藤 正樹

○日時 2018年2月17日（土）10:30～16:00

○場所 日本医科大学 教育棟2階 講堂
(〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)

○プログラム

9:30 受付開始

10:30 開会 日本医療マネジメント学会理事長 宮崎 久義

10:45～11:30 基調講演1 「これからの慢性期医療と地域連携」

日本慢性期医療協会会長 武久 洋三

11:30～12:30 基調講演2 「医療と介護を結ぶケアサイクル論」

一般社団法人未来医療研究機構代表理事 長谷川 敏彦

12:30～13:30 休憩

13:30～14:00 講演1 「入退院支援と医療介護連携の在り方」

国際医療福祉大学大学院教授（中医協入院医療分科会会長） 武藤 正樹

14:00～14:30 講演2 「医療と介護の連携と同時改定を考える（医師会の立場から）」

日本医師会常任理事 鈴木 邦彦

14:30～15:00 講演3 「医療と介護の連携と同時改定を考える（看護協会の立場から）」

公益社団法人日本看護協会常任理事 荒木 暁子

15:00～15:20 講演4 「地域連携人材の養成「医療福祉連携士」について」

広南病院神経内科医師（医療福祉連携士の会会長） 中村 起也

15:20～15:30 休憩

15:30～16:00 パネルディスカッション 「2025年へ向けて医療と介護の連携を考える」

司会 国際医療福祉大学大学院教授

武藤 正樹

演者 日本医師会常任理事

鈴木 邦彦

公益社団法人日本看護協会常任理事

荒木 暁子

広南病院神経内科医師（医療福祉連携士の会会長）

中村 起也

16:00 閉会（予定）

